

報告事項才

令和2年度 第1回山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）の概要
について

令和2年度 第1回山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）の概要につ
いて、別紙のとおり報告します。

令和2年8月7日

鳥取県教育委員会教育長 山 本 仁 志

別紙

令和2年度 第1回山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）の概要について

令和2年8月7日

鳥取県教育センター

- 1 日 時 令和2年7月14日（火）午後1時30分から3時まで
- 2 場 所 鳥取県教育センター等（Web会議システムを使用した遠隔会議）
- 3 出席者 島根大学教師教育研究センター長、教授、准教授、アドバイザー等
及び鳥取県教育委員会関係各課長等（主管は鳥取県教育センター）
- 4 内 容
 - （1）鳥取県教育委員会の事業、取組等について
 - ・島根大学との連携事業の状況
 - ・校種別新規採用者の状況（経年変化）
 - ・初任者の状況と初任者支援の体制
 - （2）島根大学の事業、取組等について
 - ・令和2年度における教員養成（開放制を中心に）
 - ・島根大学で開講する教員免許状更新講習
 - ・令和2年度島根大学現職教員研修プログラム
 - ・島根大学教育学部附属山陰教員研修センターを活用した地域の教育力向上
 - ・島根大学教職大学院の改組
- 5 主な意見・提言
 - ＜初任者支援について＞

4月にWeb会議システムを使って初任者同士をつなぐ試みを行ったところである。今後、同期採用者のつながりの強化を目的として島根大学出身の初任者、島根大学の教職員、教育センターの指導主事によるWeb座談会を実施し、さらに、他の初任者にも汎用性のある取組にしていきたい。

島大新卒の初任者を含めたWeb座談会を実施したい（7月下旬 対象者9名）
 - ＜島根大学との共同研究、連携事業について＞

CHA3プログラム、1000時間体験、未来教師育成プロジェクトの対象を拡大し、中部地区や東部地区での実施、実施の検討をしていきたい。
 - ＜現職教員研修の変更について＞

本研修は、学校で中核的な役割を果たすことが期待されているミドルリーダー教員を対象に実施予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により実施しないことになった。それに代わってICTを活用した学びの個別最適化の実現（仮称）をテーマに15回シリーズ（選択受講可）でオンライン研修を計画中である。
- 6 今後の予定

次回の開催については検討中である。